
個人投資家様向け説明会

2013年2月



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ

証券コード：8732

- I. FX取引とは
 - II. マネーパートナーズグループのご紹介
 - III. 当社グループの収益構造、特徴と強み
 - IV. 業績の推移
 - V. 経営戦略
 - VI. 当社の経営目標及び株主還元について
- 参考資料

I. FX取引とは

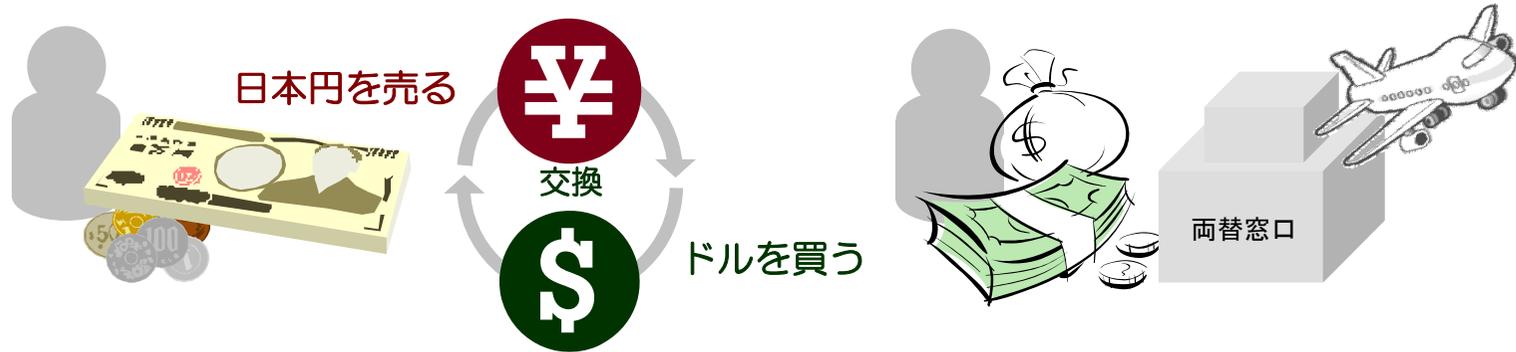




Money Partners Group

FX取引とは①

◆ FXとは「外国為替取引」のこと



空港などの両替窓口で手持ちの「円」を「ドル」に交換することは「円を売って、ドルを買う」ことになります。

<1万円分の取引をした場合>

為替レート

1ドル=80円のとときに
ドルに交換すると



1万円



125ドル

+1,250円
の利益!



1万1250円

1ドル=90円のとときに
円に戻すと

このように円を外貨に交換し海外で買い物をしたり、為替レートに沿ってお金を売買して利益を出すこともできます。

※当スライドは簡略化して作成しておりますので、参考資料(スライドNO.35)も併せてご覧ください。

FX取引は証拠金を入れることで交換した外貨をそのままずっと持つこともでき、差金決済で売りと買いの差額で利益を得ることもできるのです。



FX取引とは②

Money Partners Group

◆ 外貨の両替・受取はFXを利用した方が断然お得！

< 10万円を交換した場合の両替手数料比較 >



マネパの外貨受取3つのポイント

- POINT 1** インターネットで事前申込！カンタン便利な外貨両替！
- POINT 2** 海外旅行の主要な玄関口 成田・関空 のどちらでも受取可能！
- POINT 3** 当日は現金不要！受取専用カウンターでスピーディな受取！

◆ FXはレバレッジが使える！レバレッジとは「てこ」のことで、少ない資金で大きなお金を動かします。

例えば、FXで10万円の資金があり、レバレッジを10倍にすれば100万円までの取り引きができます。しかし外貨預金では100万円の取り引きをするには100万円の資金が必要です。



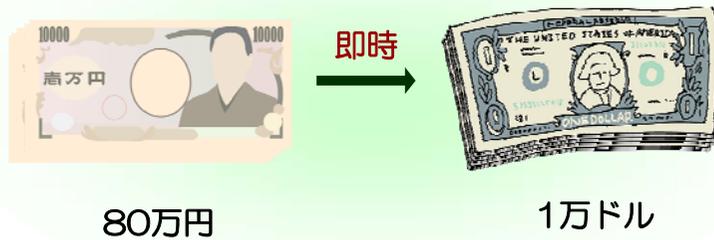


FX取引とは③

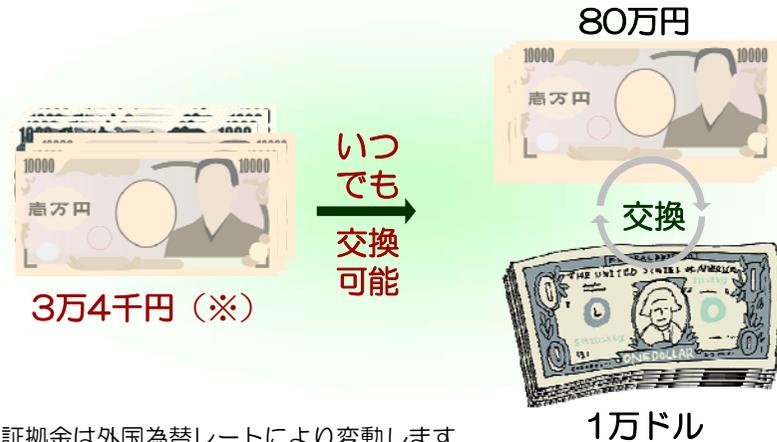
◆ 外貨預金とFXの違いは？ 基本的な仕組みは同じ！

1ドル=80円のとき1万ドルを購入する場合

外貨預金では1万ドルを80万円で買う（1万ドルの預金を行う）際には、1万ドルを即時受け取る代わりに、80万円を即時支払う必要があります。



FXでは1万ドルを80万円で買う場合に、3万4千円※の担保（証拠金）を差し入れるだけでよく、代金の受渡しはお客様の希望があるまで無期限に繰り延べることができます。



※証拠金は外国為替レートにより変動します。

為替差益を狙っての反対売買（1万ドルの売り）を行う場合、FXは売値と買値の差（スプレッド）が小さいため外貨預金と比べ極めて小さいコストで行うことができます！

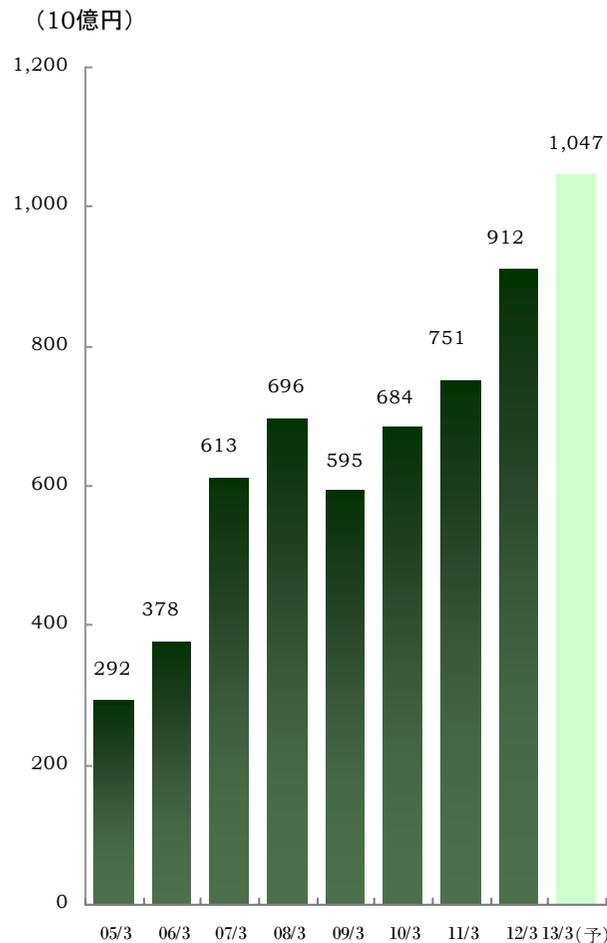
◆ 従来の投資商品である株式や債券などとは異なる特徴を持つ

- 24時間取引可能
- 高い資金効率
- 多様な収益機会
- 外貨での受取可能
- 充実のセーフティネット
- 割安な取引コスト
- スワップポイント（金利差）
- 多彩な通貨ペア

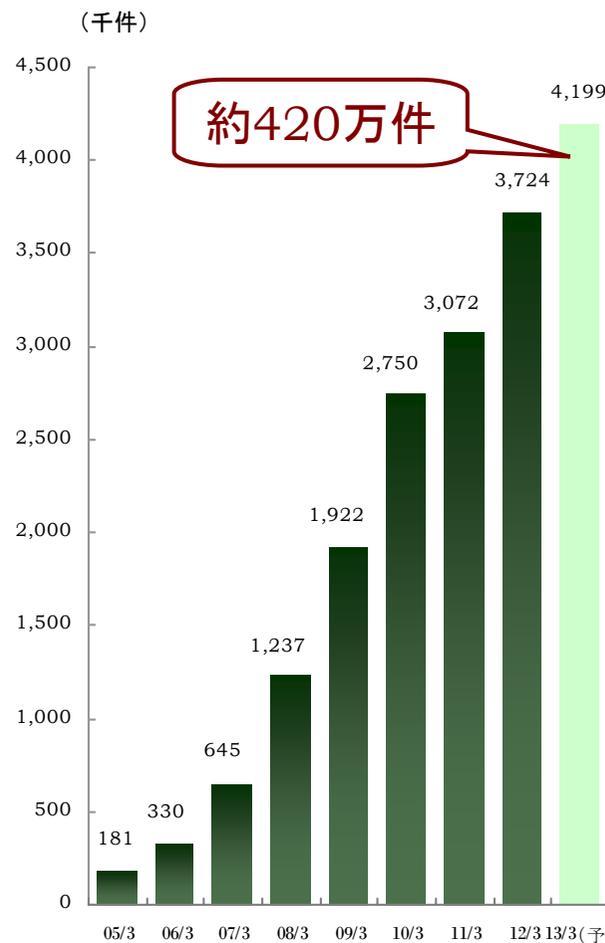
外国為替証拠金取引（FX取引）市場について

取引高については証拠金規制により減少したものの、今後はFX市場の透明化の進展に伴い預り証拠金、口座数は順調に拡大する見込

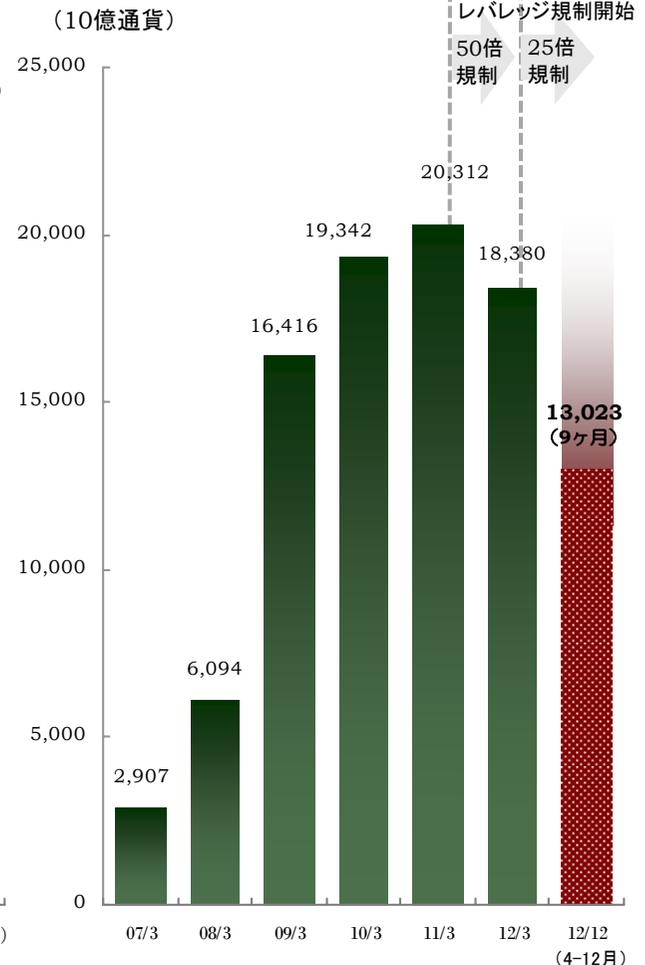
【預り証拠金推移】



【口座数推移】



【取引高推移】



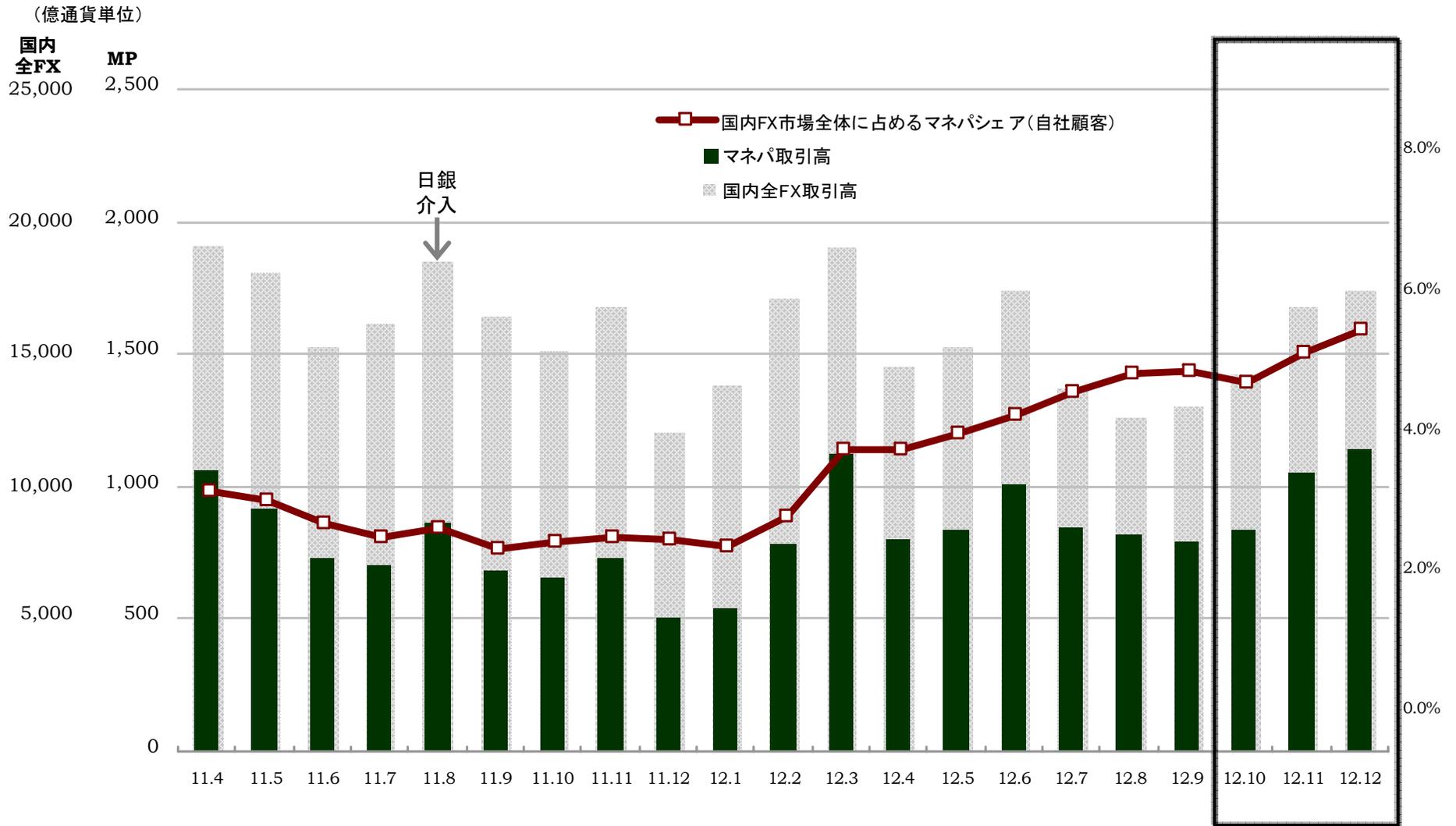
矢野経済研究所「FX(外国為替証拠金取引)の動向調査結果 2012※」より当社作成 ※対象は店頭取引のみ。取引高推移は2010年から金先協会のデータ参照



Money Partners Group

市場環境と事業の動向

国内全FX取引高及び当社出来高と当社シェアの推移





Money Partners Group

外国為替証拠金取引（FX取引）の可能性

パスポート（一般旅券）発行数
（2011年1月～12月累計）

396万件

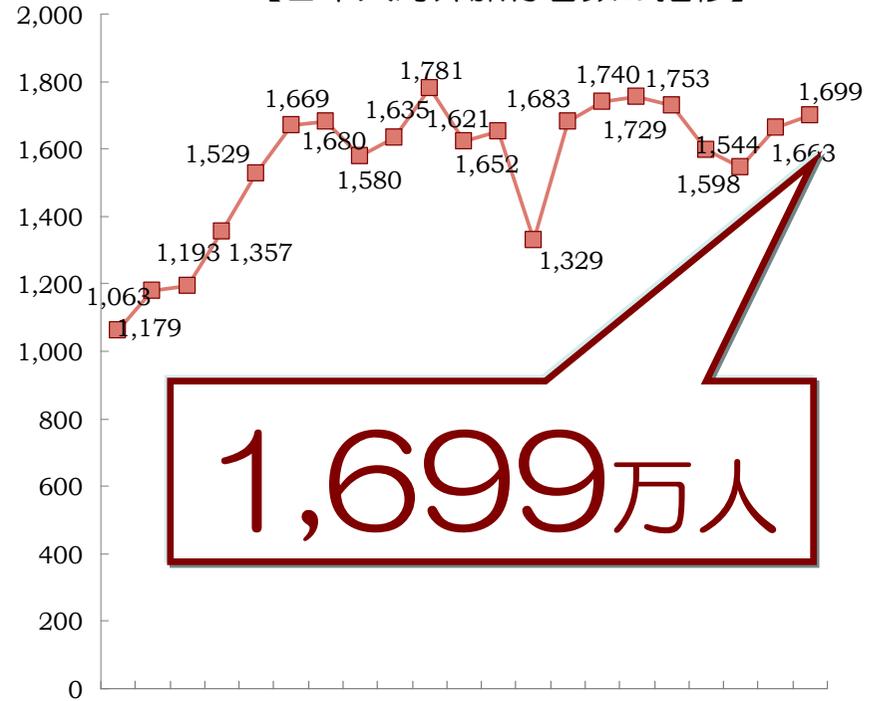
パスポート有効旅券数
（2011年12月28日現在）

5年旅券 744万人分
10年旅券 2,239万人分

計 2,983万人分

※外務省「旅券統計（平成23年1月～12月）」より当社作成

【日本人海外旅行者数の推移】



※平成24年版観光白書より当社作成



FX取引の潜在顧客となりうるユーザーは、約3,000万人以上
FXの透明化・一般化に伴い、市場は更なる拡大の可能性も



投資商品としての優位性

【規制緩和】

平成23年度税制改正法案（うちFXに関連する部分）
「申告分離課税の適用（一律20%）」 「繰越損失控除が3年間可能に」
2012年1月決済分より適応



金融商品としてのメリットUP

より一層の整備が図られるFXマーケット

【規制強化】

レバレッジ規制
最大25倍まで可能！



ロスカット
ガイドライン制定
損失を限定！



顧客預り資産
の信託義務
資産の安全性確保



透明化・健全化の更なる進展

Ⅱ. マネーパートナーズグループのご紹介



FX業界におけるパイオニア

- 1999年10月、FX取り扱い業務を開始した、日本におけるFX取引のパイオニア的存在
- 2005年6月、ネット企業のインキュベーションにより、FX専門会社として独立
(その後、2008年10月に持株会社体制へ移行。吸収分割により、全事業を新設会社である「マネーパートナーズ」に承継し、当社は「マネーパートナーズグループ」に商号変更)

FX専門業者での上場第1号

- 2007年6月、大阪証券取引所ニッポン・ニュー・マーケット「ヘラクレス」市場
(※現JASDAQスタンダード市場)にFX専門業者として初の上場を実現
- 会社設立から2年での上場はヘラクレス市場最短記録(当時)
- さらに2012年5月、東京証券取引所市場第二部へ上場

FX業界最大手の一角

- 顧客口座数約21万口座、預り証拠金約421億円(2013年1月末現在)
- 上場FX業者としては国内トップ、未上場を含めたFX業者の中ではトップクラス
- 外資系銀行と並び、『大証FX』にマーケットメイカーとして参加

会社ロゴ



社是

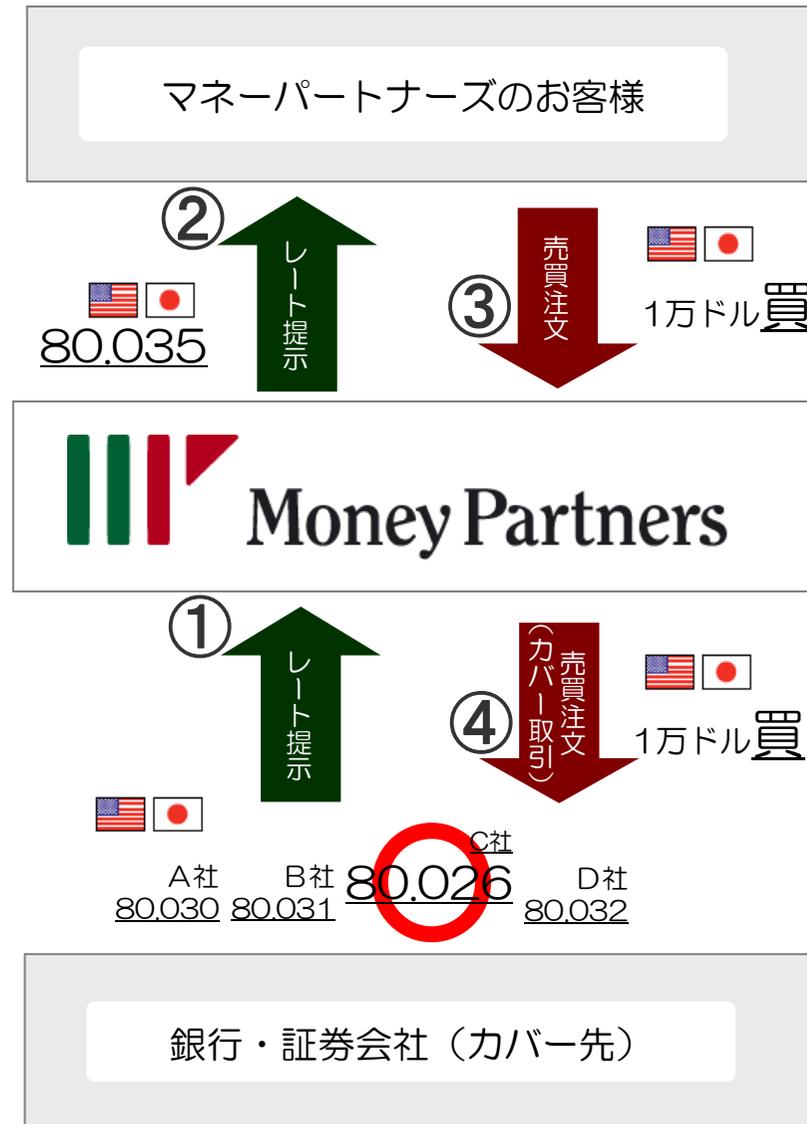
DON'T STOP!

とめない、とまらない。

Ⅲ. 当社グループの収益構造、特徴と強み



当社グループの収益構造



- ① 複数の銀行・証券会社（カバー先）よりレート提示を受ける
- ② お客様へレートを表示する
- ③ お客様からの売買注文を受ける
- ④ お客様からの売買注文を、銀行・証券会社（カバー先）へカバーする

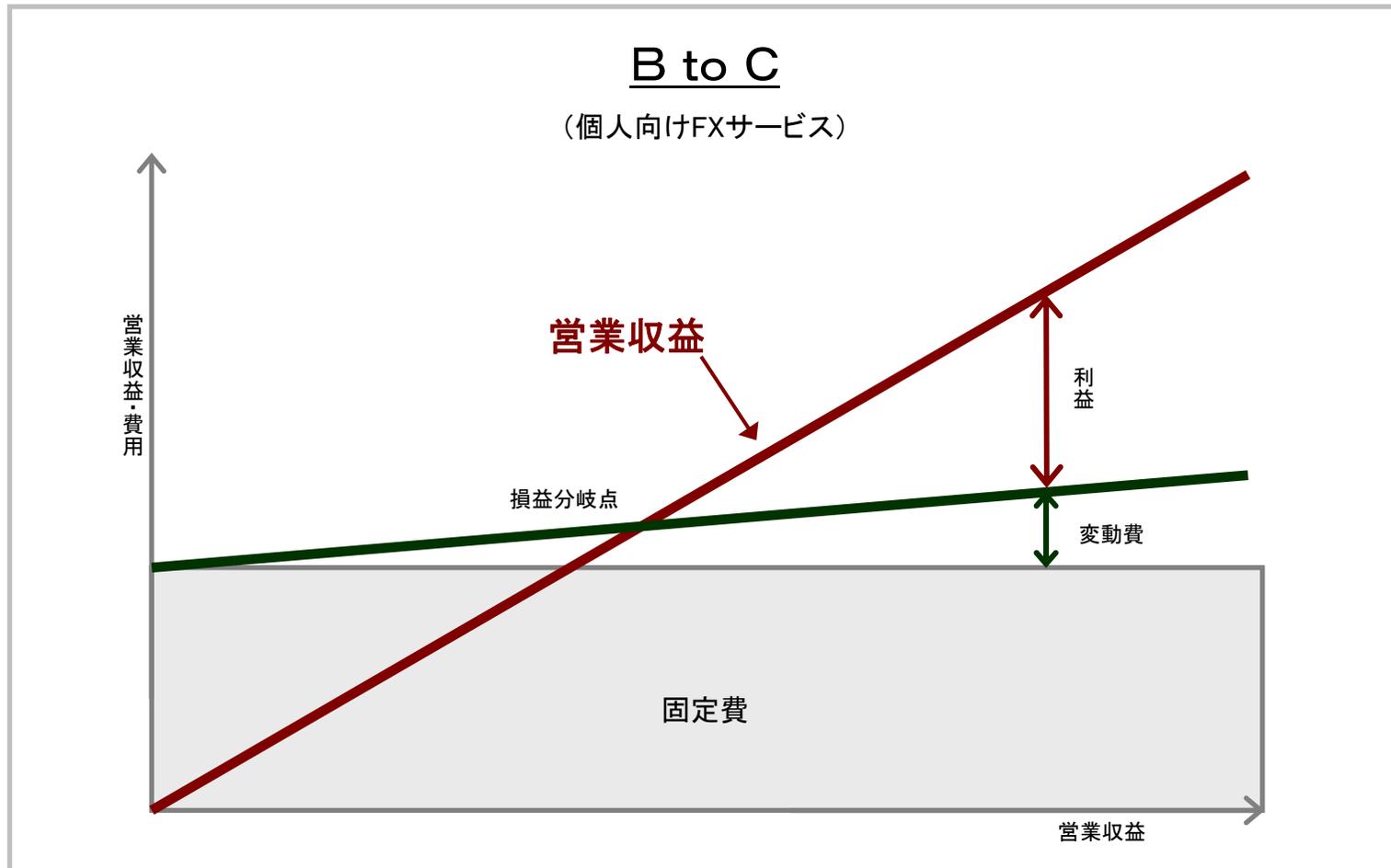
お客様との取引レートとカバー先との取引レートの差額が収益

$$80.035 - 80.026 = 0.009円$$

$$1万米ドル \times 0.009円 = \underline{90円}$$

※当スライドは簡略化して作成しておりますので、参考資料(スライドNO.33、34)も併せてご覧ください。

当社グループの基本的な利益構造



※上記のほかに大証及び金融機関向けFXサービス等からの収益（B to B）もあります。

損益分岐点を超えた後は営業収益に比例し利益も大きくなる

◆4年連続『約定力』No.1を獲得！（矢野経済研究所実施「FXパフォーマンステスト」より）

カタログスペックにはあらわれない顧客の“実質コスト”を考慮した商品設計
 大手シンクタンクが主要FX業者を対象とした調査の結果 『約定力』NO.1の評価を獲得



(※1) 注文した価格からすべて（スリップして）異なる価格で成立すること、またはそのズレのこと。

(※2) 注文を出した値段で約定ができず注文がキャンセル（拒否）されてしまうこと。

◆証拠金100円から！『パートナーズFXnano』

最小取引単位は100通貨単位から。
 建玉必要証拠金は100円から。

～少額から実感のあるトレードが可能。
 デモトレードにはないリアルな体験が得られる

全通貨スプレッド1pip・無期限ロールオーバー



マネーパートナーズは元祖少額取引提供業者！

※2013年1月末現在（当社調べ）



Money Partners Group

差別化商品・サービス

マネパならFX会社で唯一、空港での外貨受取が可能です。

NEW
関西国際空港

トラベレックス 関西空港駅店

アクセス JR・南海電鉄「関西空港駅」前

空港内の店舗で外貨を受取れるサービスは、FX・証券取扱業者であるマネーパートナーズが、顧客サービスの一環として提供する新しい形の付帯サービスです。



成田空港

京成たびる一む **第1ターミナル店**
第2ターミナル店

アクセス JR・京成電鉄「成田空港駅」・「空港第2ビル駅」前

【外貨受取サービスのメリット】



- ・割高な両替コスト
- ・来店時のレート(原則固定※)
- ・混雑した窓口

※1日1回午前10時～11時の間に各銀行で決定



- ・格安の両替コスト
- ・任意のリアルタイムレート
- ・事前手続きによるスムーズな受取



差別化商品・サービス

Money Partners Group

◆ 『証券取引、代用有価証券サービス』

FXと連携! 手数料もリーズナブル!

マネパの証券取引

証券: よくある質問

- 売却手数料が完全無料!
- 代用掛目70%でFX証拠金に使える
- 預けた株が証拠金! 現金不要でFX取引可能
- 安心のコールセンター 24時間対応

- ・売却手数料は恒常に無料
- ・株式は、FX証拠金として代用が可能
- ・代用のままでも簡単に売却OK
- ・代用有価証券のみでFXはマネパのみ

代用有価証券を使ったFX取引のイメージ

FX証拠金10万円+株券10万円分=27万円分!



◆ 『CFD-Metalsサービス』

CFD-metals 口座開設受付中!

取引開始しました!

金銀取引のススメ

金/米ドル、銀/米ドルを対象としたCFD取引開始で新たな顧客層を開拓!

◆ 『トレードレポート』



顧客の取引を5つのポイントから分析。



“負けない”顧客を育成するための施策を強化。顧客の投資手法の改善を促し、継続取引の促進と離脱防止に貢献

IV. 業績の推移



2013年3月期第3四半期 連結決算の総括とポイント

- ① □座数は8月に20万□座を突破し順調に拡大。預り証拠金は金融法人顧客による余剰預託金の出金等により前四半期比2.0%減の419.2億円に。

| | | | |
|-------|-----------|-------------|-------|
| 総□座数 | 207,859□座 | 2013/3期2Q末比 | 2.3%増 |
| 預り証拠金 | 41,929百万円 | 2013/3期2Q末比 | 2.0%減 |

- ② 第3四半期（2012/10-12）の外国為替取引高は、外国為替相場の変動率の上昇等により前四半期比23.5%の増加。

| | | | |
|-----------|------------|------------|--------|
| 10-12月取引高 | 3,029億通貨単位 | 2012/7-9月比 | 23.5%増 |
|-----------|------------|------------|--------|

※取引高には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。

- ③ 営業収益は取引高の増加等により1,563百万円（前四半期比28.9%増）、経常利益は200百万円（前四半期は△142百万円）となった。

- ④ 四半期純利益は前四半期比290百万円増の122百万円（前四半期は△167百万円）となった。



Money Partners Group

四半期業績推移

■ 四半期毎のP/L主要数値推移

単位:百万円

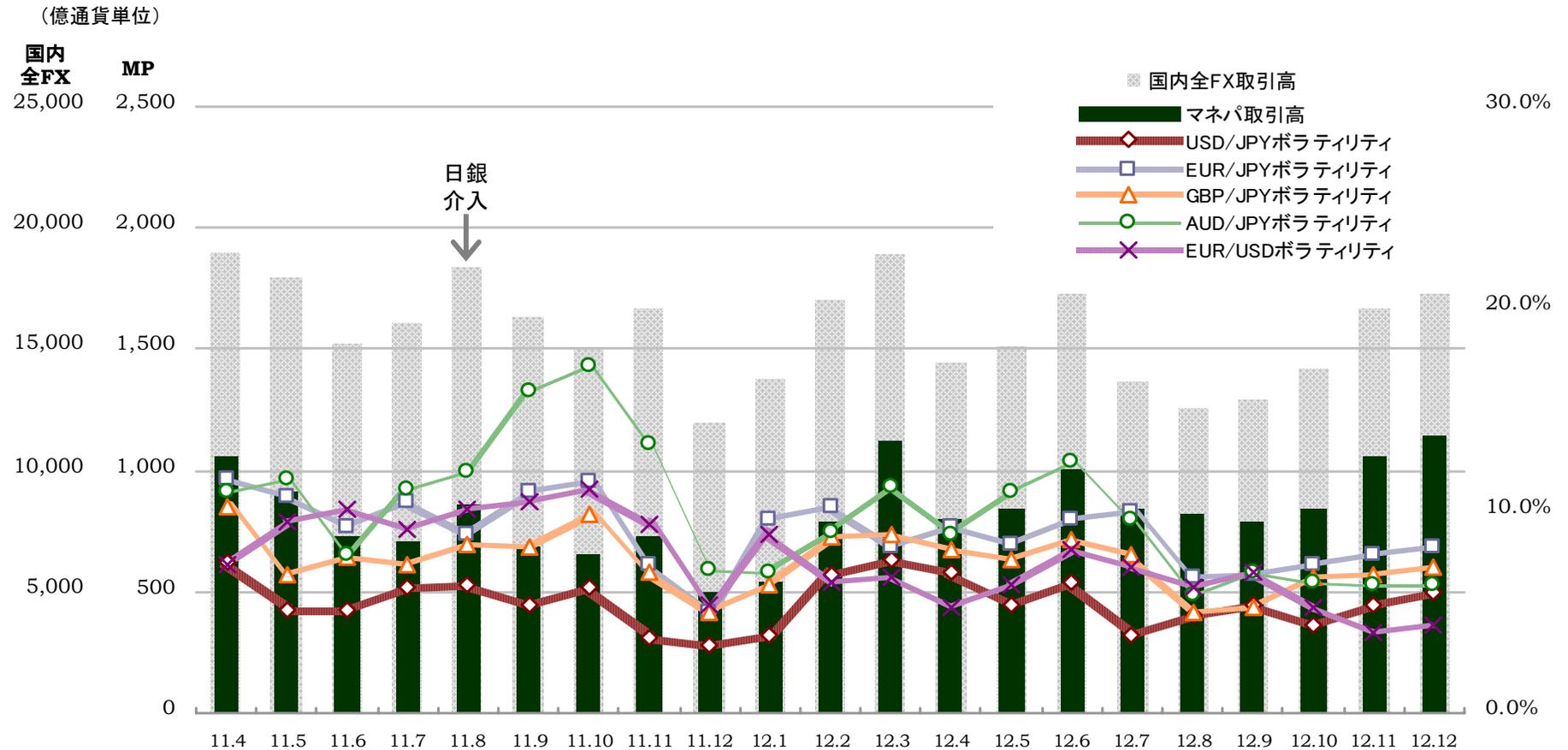
| | 2011/3期 | 2012/3期 | | | | 2013/3期 | | | 前四半期 対比増減 |
|--------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|---------------|
| | 4Q (1月~3月) | 1Q (4月~6月) | 2Q (7月~9月) | 3Q (10月~12月) | 4Q (1月~3月) | 1Q (4月~6月) | 2Q (7月~9月) | 3Q (10月~12月) | |
| 営業収益 | 1,969 | 2,027 | 1,922 | 1,922 | 1,799 | 1,604 | 1,213 | 1,563 | 28.9% |
| 受入手数料 | 0 | 3 | 4 | 2 | 3 | 2 | 1 | 6 | 361.8% |
| トレーディング損益 | 1,958 | 2,015 | 1,903 | 1,910 | 1,786 | 1,592 | 1,202 | 1,548 | 28.7% |
| 金融収益 | 4 | 3 | 4 | 3 | 4 | 4 | 4 | 4 | △15.0% |
| その他の売上高 | 5 | 4 | 9 | 5 | 5 | 4 | 4 | 4 | △2.0% |
| 金融費用 | 14 | 36 | 38 | 37 | 32 | 21 | 22 | 22 | 2.3% |
| 売上原価 | 1 | 1 | 5 | 3 | 3 | 2 | 2 | 2 | △1.2% |
| 純営業収益 | 1,952 | 1,989 | 1,878 | 1,882 | 1,763 | 1,579 | 1,188 | 1,538 | 29.4% |
| 販売費・一般管理費 | 1,796 | 1,887 | 1,801 | 1,641 | 1,633 | 1,527 | 1,332 | 1,338 | 0.5% |
| 営業利益 | 156 | 102 | 77 | 241 | 129 | 52 | △143 | 199 | — |
| 経常利益 | 149 | 98 | 67 | 237 | 123 | 29 | △142 | 200 | — |
| 税金等調整前四半期純利益 | 150 | 94 | 92 | 237 | 117 | 29 | △239 | 198 | — |
| 四半期純利益 | 87 | 56 | 80 | 134 | 66 | 16 | △167 | 122 | — |
| 営業収益経常利益率 | 7.6% | 4.9% | 3.5% | 12.3% | 6.9% | 1.9% | △11.8% | 12.8% | |



Money Partners Group

市場環境と事業の動向

取引高・主要通貨ペア日次平均ボラティリティの推移

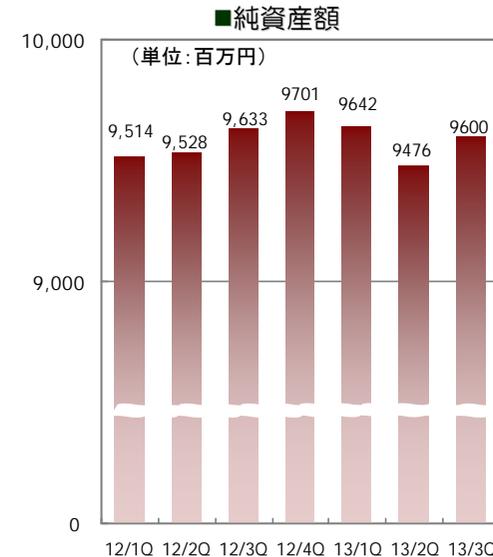
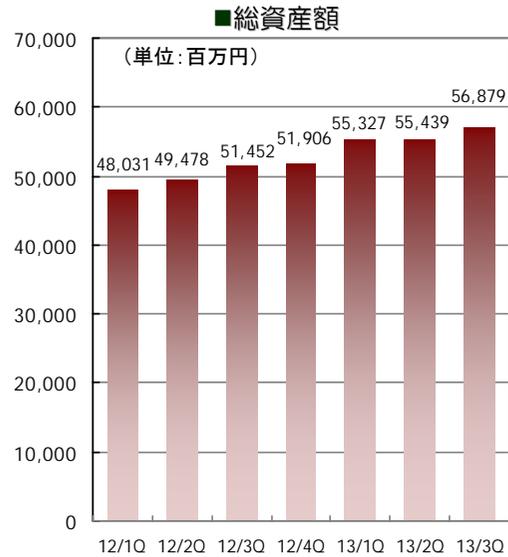
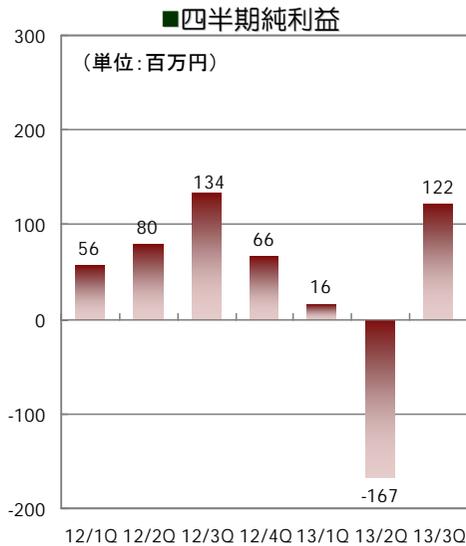
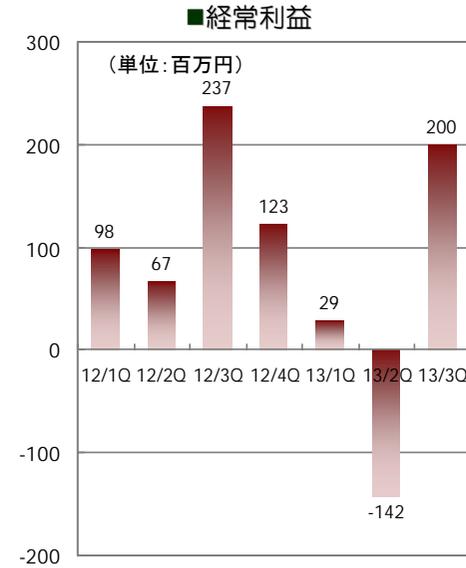
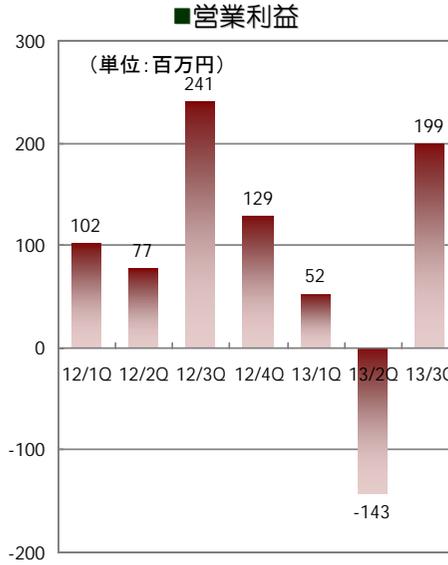
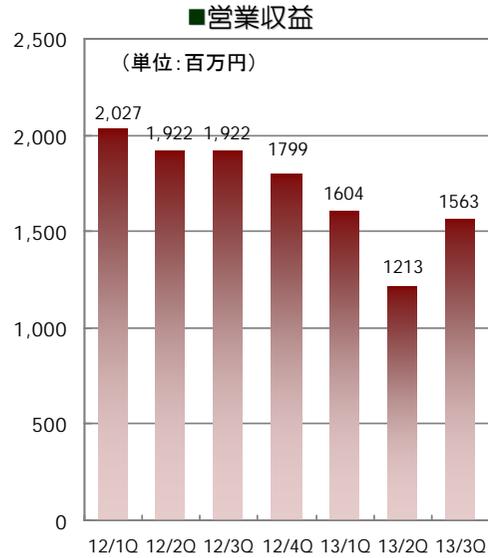




Money Partners Group

業績・財務推移

■ 営業収益、営業利益、経常利益、純利益、総資産額、純資産額推移





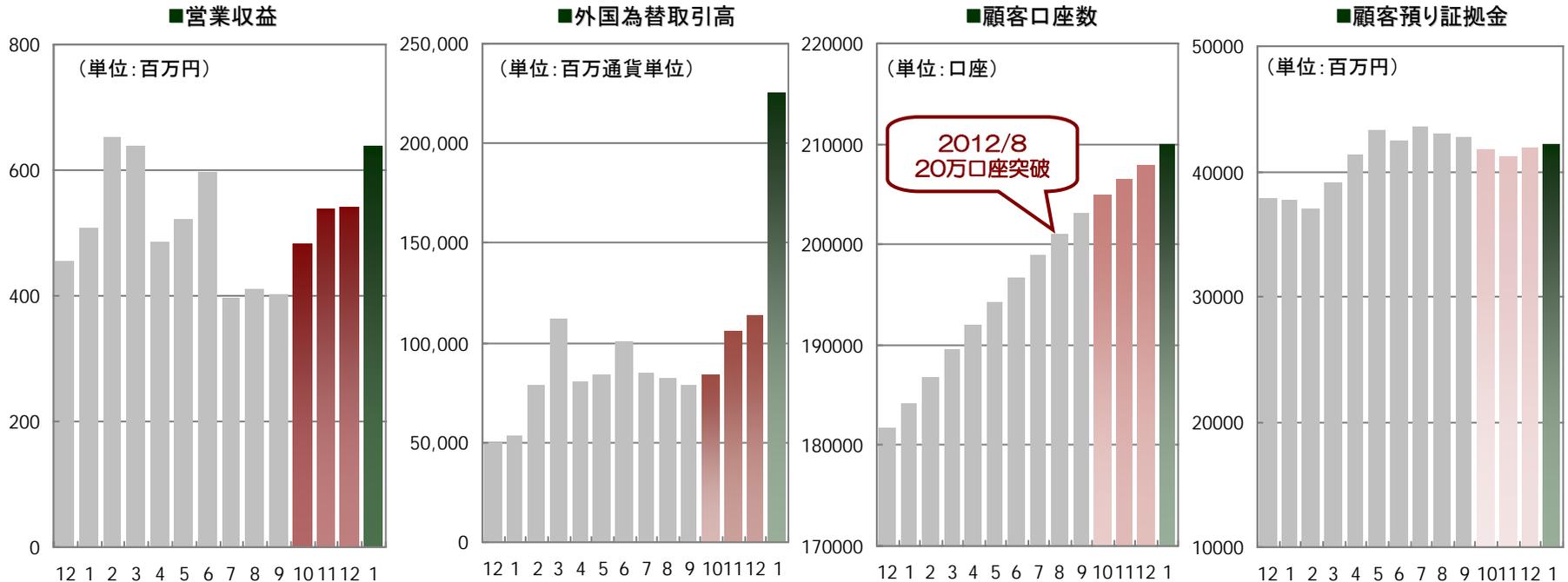
月次業績指標推移

Money Partners Group

■ 月次営業収益、外国為替取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

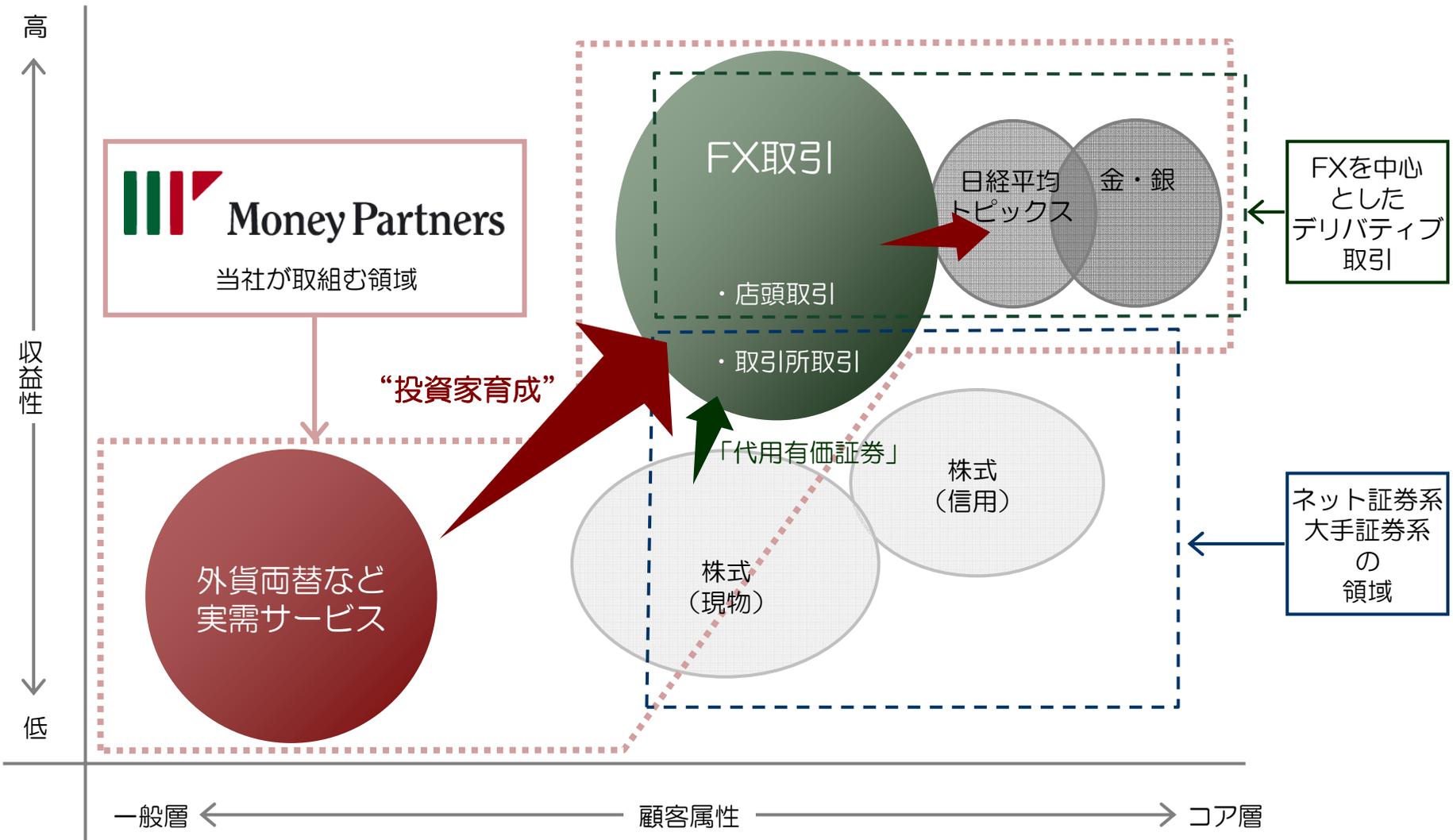
| | 2011年 | | 2012年 | | | | | | | | | | | 2013年 |
|---------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 |
| 営業収益(百万円) | 456 | 508 | 652 | 638 | 485 | 522 | 596 | 396 | 412 | 404 | 482 | 539 | 542 | 639 |
| 外国為替取引高 (百万通貨単位) | 50,117 | 53,593 | 78,387 | 112,254 | 80,325 | 83,691 | 100,449 | 84,479 | 81,991 | 78,794 | 83,547 | 105,437 | 113,982 | 225,359 |
| 顧客口座数(口座) | 181,877 | 184,260 | 186,877 | 189,570 | 192,007 | 194,315 | 196,680 | 199,051 | 201,086 | 203,125 | 204,938 | 206,375 | 207,859 | 210,010 |
| 顧客預り証拠金(百万円) | 37,888 | 37,732 | 36,935 | 39,034 | 41,341 | 43,321 | 42,495 | 43,576 | 43,005 | 42,796 | 41,718 | 41,219 | 41,929 | 42,139 |

※営業収益、取引高は、ホワイトラベル提供及び大証FXマーケットメイク業務に伴い発生した収益・取引を含んでおります。顧客預り証拠金は、ホワイトラベル提供に伴う預り証拠金を含んでおります。それぞれの計数には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。



V. 経営戦略





実需層への取組みを推進し、広く一般の投資家にも利用してもらえるFX会社を目指す

VI. 当社の経営目標及び株主還元について



ROE及び営業収益経常利益率の早期回復

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指して参ります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率（ROE）及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

▶ 2013年3月期第3四半期（2012年10～12月）のROEは5.1%

※：四半期ROEにつきましては、下記計算式により年換算して算出しております。
ROE(年換算) = (四半期純利益 × 4) ÷ ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) ÷ 2) × 100

▶ 2013年3月期第3四半期（2012年10～12月）の営業収益経常利益率は12.8%

営業収益の回復を早期に実現することにより、ROE、営業収益経常利益率の回復を目指して参ります。

業績向上に取り組み、株主利益の向上に努める

利益還元方針

配当性向：連結当期純利益の30%を目処

配当機会：中間及び期末（年2回）

当社株式を長期保有していただいている株主の皆様に対し、配当性向の引き上げや年2回の配当実施による利益還元機会の充実を図ってまいりました。今後も、株主利益の最大化を目指して参ります。

| | 2012年3月期 | | | | 2013年3月期 | | | |
|------------------|---------------------------|----|------|----|---------------------------|------|-----|----|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q |
| 当期純利益 (百万円) | 56 | 80 | 134 | 66 | 16 | △167 | 122 | |
| 配当金の総額 (百万円) | 30 | | 75 | | —※ | | | |
| 期末発行済 株式総数(株) | 321,480 (内、自己株式20,023) | | | | 321,480 (内、自己株式20,023) | | | |
| 1株当たり 配当金 | 100円 | | 250円 | | —※ | | | |

※2013年3月期の中間配当金につきましては、無配とさせていただきます。

参考資料



業績推移
収益構造
FX取引の仕組み
グループ概要



Money Partners Group

四半期販管費推移

■ 販管費内訳及び主要費目の推移

単位：百万円

| | 2011/3期 | 2012/3期 | | | | 2013/3期 | | | 前四半期 対比増減 |
|-------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|--------------|
| | 4Q (1月~3月) | 1Q (4月~6月) | 2Q (7月~9月) | 3Q (10月~12月) | 4Q (1月~3月) | 1Q (4月~6月) | 2Q (7月~9月) | 3Q (10月~12月) | |
| 取引関係費 | 953 | 973 | 915 | 781 | 767 | 634 | 481 | 439 | △8.8% |
| 人件費 | 222 | 244 | 244 | 263 | 261 | 256 | 242 | 235 | △2.7% |
| 不動産関係費 | 243 | 266 | 248 | 195 | 206 | 219 | 216 | 218 | 0.8% |
| 事務費 | 227 | 233 | 234 | 237 | 236 | 247 | 221 | 280 | 26.9% |
| 減価償却費 | 129 | 124 | 131 | 135 | 135 | 130 | 144 | 141 | △2.0% |
| 租税公課 | 0 | 10 | 11 | 11 | 12 | 11 | 13 | 10 | △21.1% |
| 貸倒引当金繰入れ | 4 | — | 0 | △0 | — | — | — | — | — |
| その他 | 14 | 34 | 15 | 18 | 13 | 26 | 11 | 12 | 0.9% |
| 販売費・一般管理費合計 | 1,796 | 1,887 | 1,801 | 1,641 | 1,633 | 1,527 | 1,332 | 1,338 | 0.5% |

(主要な費目)

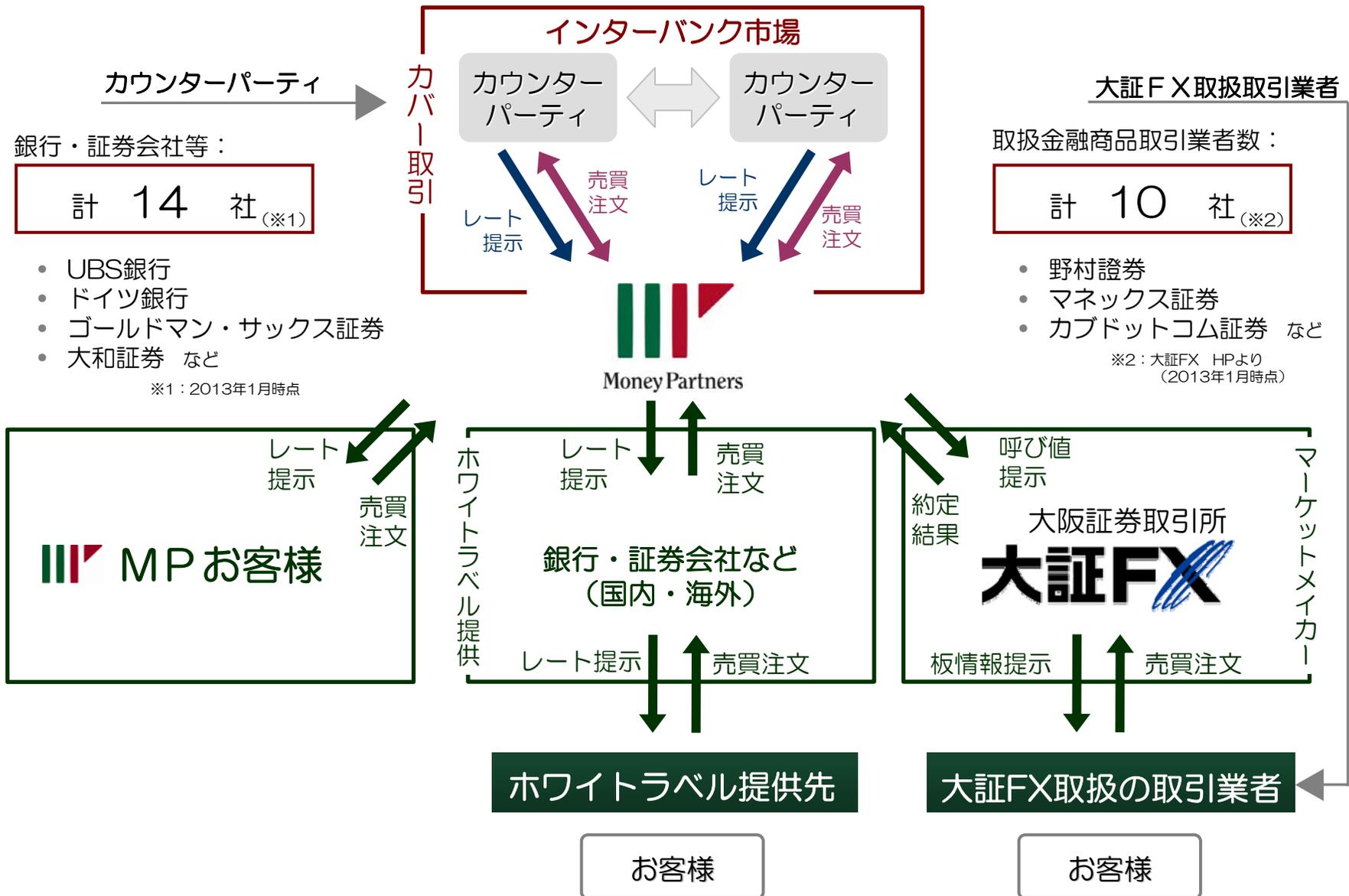
| | | | | | | | | | |
|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------------|--------|
| 広告宣伝費(※1) | 132 | 99 | 147 | 130 | 125 | 124 | 130 | 58 | △55.0% |
| システム関連費用(※2) | 391 | 414 | 399 | 340 | 359 | 380 | 357 | 408 | 14.3% |

※1 取引関係費の一部となります。 ※2 取引関係費、不動産関係費、事務費の一部となります。



Money Partners Group

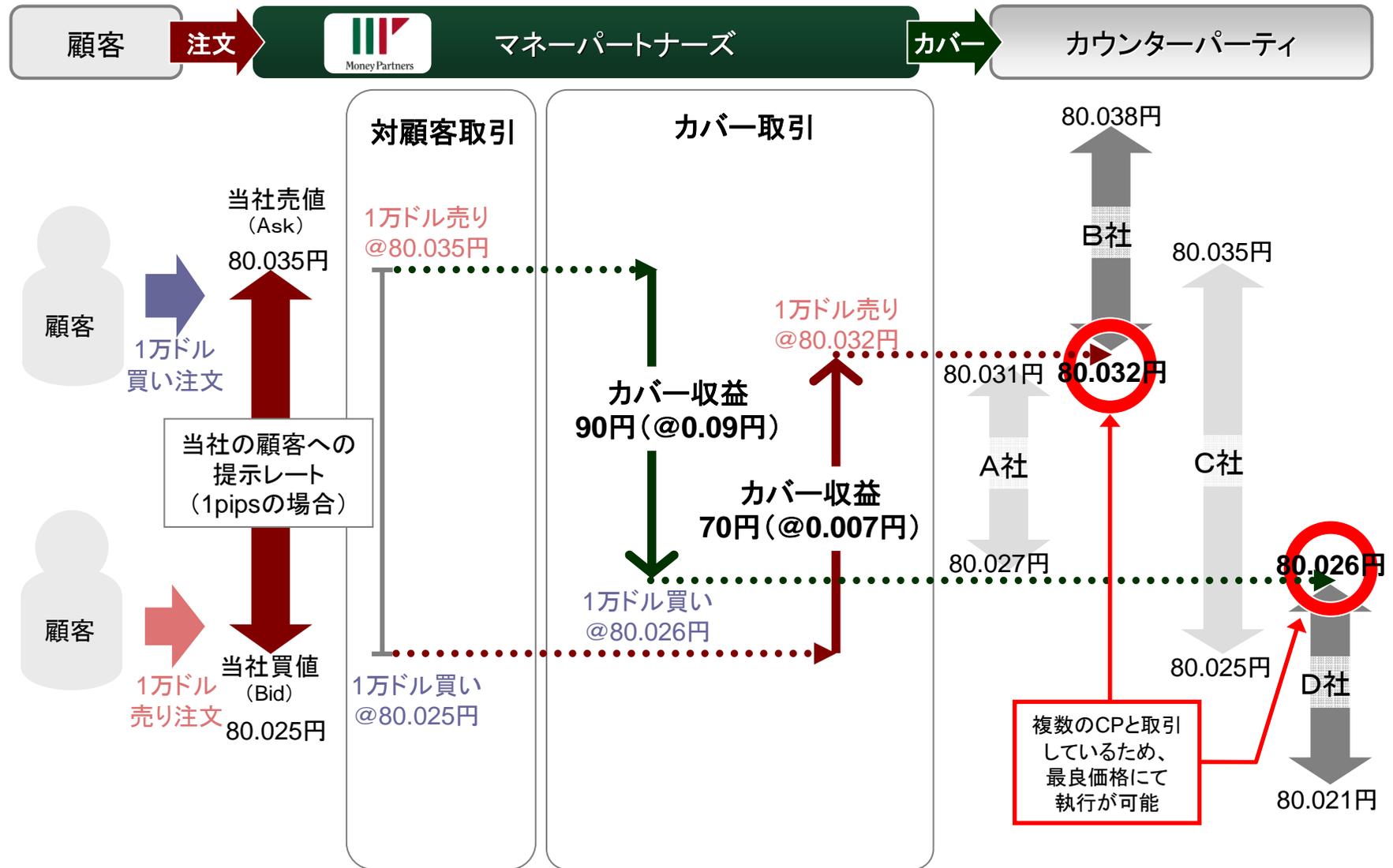
当社グループの収益構造（ご参考）





Money Partners Group

当社グループの収益構造（ご参考）



外国為替証拠金取引（FX取引）の仕組み

1ドル=80円の場合

ドル高・円安と予想

ドル安・円高と予想

ドル/円を1万通貨単位『買い』

ドル/円を1万通貨単位『売り』

ドル高・円安
の進行

(為替レート)

1ドル=81円
(値上がり)

売り=1万米ドル
(円換算81万円)

81万円-80万円=
1万円の利益

レバレッジ5倍の場合は、証拠金16万円で1万円の差益を獲得

ドル安・円高
の進行

(為替レート)

1ドル=79円
(値下がり)

買い=1万米ドル
(円換算79万円)

80万円-79万円=
1万円の利益

レバレッジ10倍の場合は、証拠金8万円で1万円の差益を獲得

どちらからでも
取引開始が可能

| | |
|----------|-------------------------------------|
| ■商号 | 株式会社マネーパートナーズグループ |
| ■本社 | 〒106-6016 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー16F |
| ■代表取締役社長 | 奥山 泰全 |
| ■設立日 | 2005年6月10日 |
| ■資本金 | 17億86百万円 |
| ■純資産 | 96億万円 |
| ■発行済株式総数 | 321,480株 |

■当社グループの事業内容

株式会社マネーパートナーズ（100%子会社）

加入協会：日本証券業協会、社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会
登録番号：関東財務局長（金商）第2028号

事業内容：

- (1) 金融商品取引法に規定する第一種および第二種金融商品取引業
- (2) 外貨両替業務
- (3) 商品先物取引業

株式会社マネーパートナーズソリューションズ（100%子会社）

事業内容：

- (1) 外国為替証拠金取引をはじめとする金融商品取引に関するコンピュータシステムの設計、開発、販売、賃貸および保守
- (2) 外国為替証拠金取引をはじめとする金融商品取引に関するマーケティング
- (3) 前各号に関連する企画、調査、研究、コンサルティング及びこれに付帯関連する一切の業務





本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまっています。既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。本資料における将来の展望に関する表明は、2013年2月現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2013年2月現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

取扱い商品に係るリスクおよび手数料等について

パートナーズFX、パートナーズFXnanoおよびCFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とには差額(スプレッド)があります。

取引手数料は無料です。ただしパートナーズFXについては、受渡取引に限り、1通貨単位あたり最大0.40円の手数料をいただきます。

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コース(パートナーズFXのみ)の場合は、取引の額の0.5%以上の額で、証拠金の約200倍までの取引が可能です。

CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。

国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.625%の手数料(消費税込み)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,625円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者・商品先物取引業者)

〈金融商品取引業の登録番号〉関東財務局長(金商)第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会